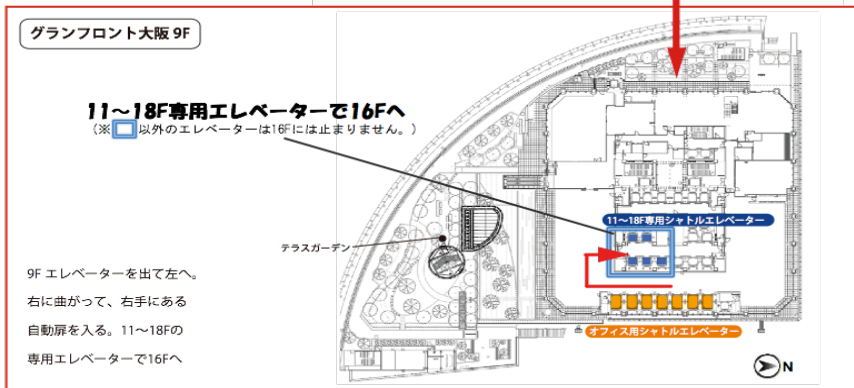
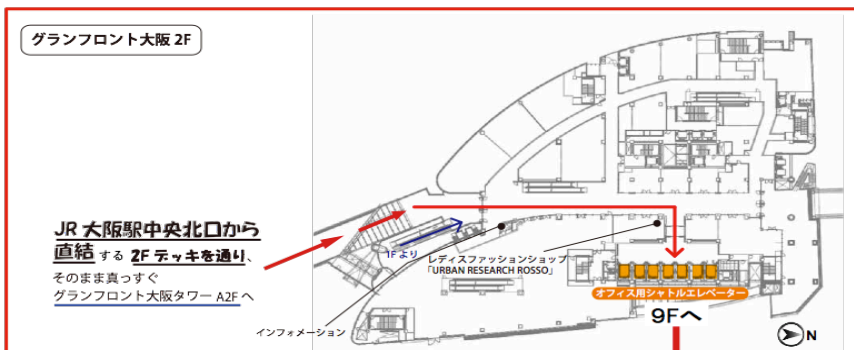
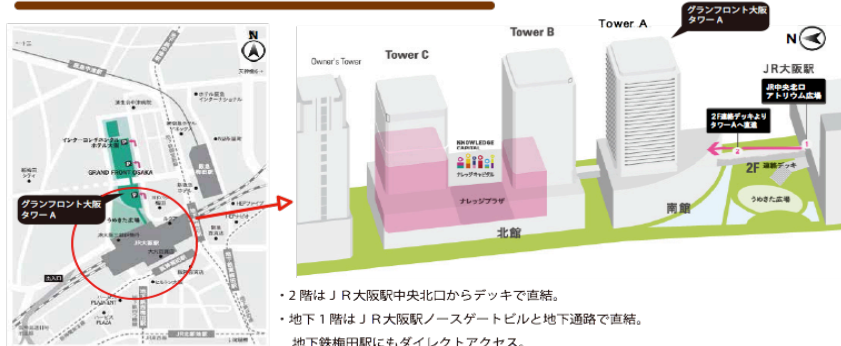


会場のご案内

谷岡学園梅田サテライトオフィス CURIO-CITY

〒530-0011 大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪タワーA (南館) 16階

谷岡学園 梅田サテライトオフィス アクセスマップ



講演会

テーマ：遊戯論としての武道

講師 寒川 恒夫 先生
早稲田大学スポーツ科学学術院教授

日時 平成28年2月20日(土)
14:00~16:30(受付13:30~)

場所 谷岡学園梅田サテライトオフィス
CURIO-CITY
グランフロント大阪タワーA(南館)16階

参加費 無料

主催 大阪体育学会
(本講演会は身体運動文化領域研究会を兼ねて開催されます)

講師のご紹介

そうがわ つねお

講師 寒川 恒夫 先生

早稲田大学スポーツ科学学術院教授

プロフィール

1947年生まれ。東京教育大学体育学部卒、筑波大学大学院体育科学研究科博士課程修了、学術博士。現在、早稲田大学スポーツ科学学術院教授。専門はスポーツ人類学。岸野雄三先生にスポーツ史と哲学を、渡辺一郎先生に武道学を、大林太良先生に民族学を学ぶ。

講演要旨

遊戯論としての武道

戦場の殺傷術に起源を持ち、今日では人格修養道としておこなわれる武道を遊戯と捉えるのは、違和感をおぼえる。確かに武道憲章に記された今日常識の武道は儒教的な人格形成文化であるが、しかし、かつて近世に作成された武道伝書は、敵をみごと殺す技を発現する心は仏教と道教の遊戯の心が最適であると記している。武道伝書が問題にした遊戯とはどのようなものであったのか。そうした遊戯論は日本以外にもおこなわれるのか。遊戯論を人間論として展開し、これを古代ギリシャ以来の知的伝統として持ったヨーロッパはどうか。武道伝書の遊戯論と、ヨーロッパ遊戯論の到達点と評価されるホイジンガ遊戯論の比較を試みる。

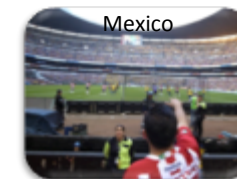


Sport and Culture

Prof. Tsuneo Sogawa, Ph.D.
(Cultural anthropology of sport)



Ethnic sports



References

Sogawa, T. 2006, Ethnic sport, it's concept and research perspectives, International Journal of Sport and Health Science, vol.4 : 96-102.

Sogawa, T. 2014, Japanese martial arts (Budo) and Asian philosophy, Heibonsha Ltd. : Tokyo. (in Japanese)

ご案内

- 会員以外の方もお誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。資料準備の都合上、できるだけ事前申し込みをお願い致します。①氏名 ②所属 ③連絡先を下記事務局まで。
- 大阪体育学会事務局 E-mail : kkumamoto@kindai.ac.jp